

- V-Low帯域(95MHz～108MHz)の利活用方策の検討にあたっては、市場に流通している受信機の対応周波数、普及状況、V-Low未対応機器の改修方法等を詳細に把握する必要がある。
- このため、関係事業者(自動車メーカー、ラジオ受信機メーカー)へヒアリング等を行い、受信機実態調査を令和2年度に実施。

## 【調査事項】

- メーカー・機種別に以下の項目の調査・分析
  - ・ 利用区分(車両搭載、携帯型、システムオーディオ)
  - ・ 機種毎の対応周波数(～90MHz、～95MHz、～99MHz、～108MHz)
- メーカー等へのヒアリングやアンケートによる調査・分析
  - ・ ～108MHz未対応機種の改修可否、改修方法(車検時の改修など)、改修までの期間等